

企画展 (7月23日(木)～9月27日(日)開催)

療養所の戦後

～箱根療養所でくらしした戦傷病者の労苦～

開催趣旨

戦傷病者の中でも、脊髄を損傷したために下半身麻痺となり車椅子で生活することになった人々がいました。箱根療養所はそうした人々のための国立の施設として、戦中に作られた療養所でした。戦後は一般の患者も受け入れる国立の施設となりましたが、昭和40(1965)年には、所内の戦傷病者の患者のための病棟(西病棟)が作られ、戦傷病者とその家族がともに暮らした療養所となりました。入所者の中には、戦中から戦後も引き続き療養を続けた戦傷病者もいました。

今回の企画展では、箱根療養所(現在の独立行政法人国立病院機構箱根病院)の協力を得て、戦中・戦後の療養所の写真をはじめ、昔の木製の箱根型車椅子、その他、かつて西病棟に残されていた慰問の品々など約100点を展示し、所内で暮らした戦傷病者とその家族の戦後の労苦を紹介します。

また、この療養所で暮らした戦傷病者の証言映像や昔の記録映像もあわせて紹介します。

この他、講演会(無料)や学芸員による展示解説等の関連イベントもごぞいます。ぜひご来館下さい。

主催： しょうけい館(戦傷病者史料館)
協力： 独立行政法人国立病院機構箱根病院
会期： 平成21年7月23日(木)～9月27日(日)
会場： しょうけい館1階
入場料： 無料
開館時間： 10:00～17:30(入館は17:00まで)
休館日： 毎週月曜日、9月24日(木)
内覧会： 平成21年7月22日(水)15:00～17:00
関連イベント： ① 講演会「箱根療養所の思い出」

独立行政法人国立病院機構箱根病院 院長 石原 傳幸氏

(日時) 8月9日(日) 13:30～14:30 (場所) 1階証言映像シアター *入場無料

② 学芸員による展示解説

7月25日(土)、8月8日(土)、8月29日(土)、9月12日(土)

毎回14:00より 約30分程度、申込不要

展示構成と主な展示資料

1、療養所の歴史（戦前の療兵院、傷兵院、戦中の傷痍軍人療養所の紹介）



箱根型車椅子



恩賜の鶴（傷兵院の頃）

2、終戦と竹細工（所内で作られた竹細工等の紹介）

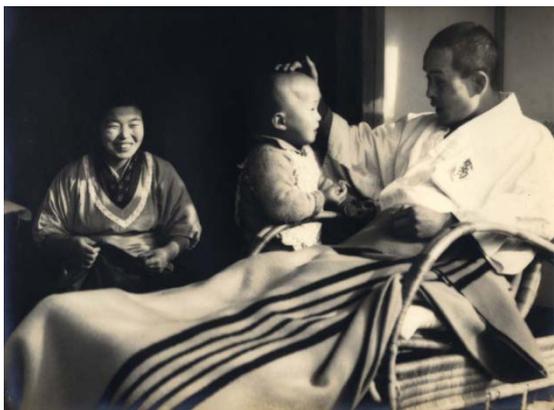


竹細工の製作



病室にて

3、療養所の生活（療養所内で使われていた生活資料、慰問品、写真等の紹介）



子供とともに

4、多くの人々に支えられて（所外でも活躍された戦傷病者の方々の紹介）



パラリンピックに出場した青野繁夫氏を
激励する皇太子殿下ご夫妻（昭和 39 年 11 月）



パラリンピック宣誓文を刻印した竹細工
（青野はづ氏寄贈）



所内でのスポーツ大会（昭和 40 年）

関連映像の紹介

当館1階証言映像シアターにて、当館が制作した箱根療養所内の戦傷病者の証言映像と、この療養所の昔の記録映像を上映いたします。

●開館時間中、以下のプログラムを連続上映

映像タイトル	証言内容	所要時間	制作者	制作年
暖かい支援に支えられて	戦傷病者の証言映像	9分55秒	しょうけい館	2003年
療養所は大きな家族		9分53秒	しょうけい館	2003年
受傷の労苦と葛藤を超えて		9分43秒	しょうけい館	2003年
箱根療養所	婦長の証言映像	12分28秒	しょうけい館	2004年
8人の傷痍軍人	テレビの特集番組	7分10秒	毎日映画社	1981年
ある生活：夫婦	ニュース映画	4分33秒	日本映画新社	1971年

★この他にも館内情報検索コーナーで当館制作の戦傷病者の証言映像（全76本）をご自由に検索・ご覧いただけます。

所在地：〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-13 共同ビル九段2号館

ホームページ：<http://www.shokeikan.go.jp>



交通案内：地下鉄の場合……「九段下」駅6番出口から徒歩1分（東西線、半蔵門線、都営新宿線）

都営バスの場合……「九段下」停留所から徒歩1分（高71系統（九段下～高田馬場駅））

その他：駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

車椅子で来館される場合は館のA入口をご利用ください。

問い合わせ先：（電話）03-3234-7821（FAX）03-3234-7826

（担当）学芸課 植野・木龍